

令和7年度 学校運営改善方策の実施成果について

世田谷区立八幡小学校 校長 阪田 敦子

本校では、令和6年度学校関係者評価結果を踏まえ、「主体的な学びの充実」「学校・家庭・地域との連携強化」「情報発信の充実」などを重点として改善に取り組みました。その結果、次のような成果が見られました。

1 学習指導

学校公開や保護者会等を通して授業の様子を伝えけるとともに、児童が主体的に学ぶ授業づくりを進めた結果、保護者の「子どもの興味・関心を重視し、主体的に取り組める授業を行っている」という評価が向上しました。また、児童からも「分かりやすい授業が行われている」と高い評価を得ることができました。

2 生活指導

教職員が指導方針を共通理解し、ルールやマナー、タブレット端末の適切な利用について継続的な指導を行った結果、児童・保護者の評価が向上しました。また、学校生活におけるルールの定着が進み、昨年度に引き続き校内でのけがの減少にもつながりました。

3 学校行事

児童の主体性を生かした行事づくりを進めた結果、「学校行事は楽しい」と回答した児童の割合が高まりました。また、保護者や地域からも学校行事について高い評価を得ることができ、子どもたちの意欲の向上につながりました。

4 キャリア教育

キャリアパスポートを活用した目標設定や振り返りの活動を継続した結果、自分の目標を意識しながら学習や生活に取り組む児童が増加しました。また、保護者の理解も前年度より向上しました。

5 家庭学習

主体的に学ぶ力を育成するため、自主学習の取組を推進した結果、「家庭で学習に取り組んでいる」と回答した児童・保護者の割合が大きく向上しました。学校での学びを家庭での学習につなげる意識の向上が見られました。

6 情報提供

学校だよりやホームページによる情報発信を継続した結果、保護者から「学校の様子が分かる」、地域から「学校からのお知らせにより学校の様子が分かる」との評価が高まりました。学校教育活動への理解を深めることにつながりました。

7 学校と家庭・地域との連携

地域の人材や施設を活用した教育活動や地域行事への参加を進めた結果、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育てることへの理解が大きく向上しました。また、学校が地域と連携して教育活動を行っていることへの評価も向上しました。

8 学校の安全性

避難訓練や安全指導の充実、自然災害時の対応についての情報発信を継続した結果、安全・安心な学校づくりに対する保護者の評価が向上しました。学校の安全対策への理解を深めることができました。

おわりに

改善方策に基づく取組を継続した結果、学習指導、生活指導、家庭学習、キャリア教育、情報発信、安全教育など多くの分野で成果が見られました。今後も学校関係者評価を生かしながら、子どもたち一人一人の成長を支える教育活動の充実に努めてまいります。